

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號二第 卷五第

行發日一月八年六正大

論 說

營業稅ヲ賦課スキ營業ノ範圍……………法學博士 神戸 正雄
 純粹資本(資金)ト資本財……………法學博士 河 上 肇
 中壽ノ說三完……………法學博士 財部 靜治
 現代的保險ノ成立三……………法學士 小島昌太郎

時事問題

製鐵業ノ獎勵……………法學博士 戸田 海市
 支那ノ裁厘加税問題……………法學士 木村增太郎

雜 錄

歐洲戰亂ノ南米ニ及ホ影響……………山本美越乃
 ゆこすらう民族運動(一)……………米田庄太郎
 福島山形二縣ノ製絲業……………法學士 河田 嗣郎
 臺灣人口動態統計十年報ヲ讀ム……………文學博士 内田 銀藏
 戰時利得稅ノ諸例……………法學博士 神戸 正雄
 學界ノ巨人しゆもらし逝ク……………法學博士 神戸 正雄

雜 錄

歐洲戰亂ノ南米ニ及ボセル

影響

山本美越乃

今次ノ大戦ノ爲メニ中立諸國ノ受ケタル利益ハ極メテ莫大ナルモノニシテ、現ニ米國ノ如キハ昨一九一六年ノミニテモ外國貿易ノ總額ハ七十八億弗ノ巨額ニ達シ、又すかんでいなびあ諸國ノ如キモ海運會社ノ利益配當ハ四割乃至五割ニ及ビ、時トシテハ僅カニ兩三回ノ航海ニ依リテ船價ヲ償却シタル者スラアリト稱セララルヲ以テ見ルモ如何ニ其ノ利益ノ大ナルカヲ推知セシムルニ難カラズ、然ルニ等シク中立國中ニ數ヘラルルモ南米諸國ニ於テハ全ク之ト異ナリ、歐洲戰亂ノ爲メニ却テ諸種ノ方面ニ一大打撃ヲ受ケタルノ觀アリ、今其ノ理由ノ重ナルモノヲ擧グレバ

(一) 南米對歐洲間ノ交通ノ杜絶 其ノ原因ハ種

種ナルモ船舶ノ缺乏及航海危險ノ爲メニ運賃ノ暴騰セルコトハ要スルニ之ガ最大原因ヲ成セリ、例ヘバあるせんちんノ小麥ヲ歐洲市場ニ輸送スル運賃ハ從來一噸最高十弗ヲ超ユルコトナカリシニ、開戰第一年ニ於テ既ニ一噸四十弗ノ高率ニ達シタルヲ以テ、忽テ在荷ノ停滯ヲ來シ小麥ノ生産者等ハ其ノ生産ヲ繼續スルコト頗ル困難ナルニ至レリ、又智利ノ硝石ノ如キモ一九一四年迄ハ一百三十有餘ノ工場ニ於テ、年額約六千萬くいんたる(一くいんたるハ約百封度ニ相當ス)ヲ產出セシモ、開戰後船腹ノ缺乏ニ基ツク運賃暴騰ノ結果トシテ、一九一五年ニハ僅カニ三十有餘ノ工場ノミ辛フジテ其ノ事業ヲ繼續シ、他ハ一時閉鎖ノ止ムナキニ至レリ、更ニ他ノ一例ハ燃料問題ニ關シテモ之ヲ發見スルコトヲ得ベシ、即チ南米ニ於ケル主要ナル石炭ノ需要地タルあるせんちんノ如キハ、一箇年平均四百萬噸ノ石炭ヲ輸入シツツアリシニ、一九一五年ニハ僅カニ二百五十萬噸ヲ輸入シ得タルニ過ギズ、然カモ國內ニ於ケル二萬哩ノ鐵道及各

種ノ工場ニ要スル燃料ハ、到底之ヲ以テ充タサルベキニ非ザルガ故ニ、其ノ價格ハ著シク騰貴シ、べのす、あわれすニ於テハ、一噸五十弗ノ高價ヲサヘ傳フルニ至レルヲ以テ、あるせんちん及智利ノ如キハ石炭ニ代ユルニ木材ヲ燃料トシテ使用スルニ至レリ。

此ノ如ク今次ノ大戦ノ爲メニ南米諸國ノ通商ハ著シク阻碍セラレ、單ニ獨逸ニ對スル關係ノミニ就キテ觀察スルモ、一九一三年ニハ南米諸國ヨリ獨逸ヘノ輸出總額ハ約一億六千萬弗、輸入總額ハ約一億九千萬弗ニ達セシニ、一九一五年ニハ輸出總額ハ約十八萬弗、輸入ハ殆ンド皆無ナルノ状態ニ陥レリ。

(二)重要産物ニ對スル需要ノ減退、南米ニ於ケル重要ナル産物ノ一タル珈琲・加々阿等ニ對スル主タル市場ハ從來歐洲諸國ナリシニ、開戦以來或ハ(一)ノ原因ニ基ヅク價格ノ騰貴ヨリ、或ハ歐洲諸國ニ於ケル正貨流出ノ防止策ヨリ、頗ニ其ノ需要ヲ減少シタルヲ以テ、此ノ點ヨリ論ズルモ南米殊ニ是等ノ熱帯産物ノ主産地タルぶら

じる及久くあざるノ受ケタル打撃ハ決シテ小ナリトセズ、例ヘバぶらじるノ珈琲ノ産額ノ約六割ハ歐洲ニ輸出セラレタルモ、今ヤ其ノ販路ノ大部分ヲ失ヘルヲ以テ、ぶらじるノ經濟狀態ハ此ノ一事ヲ以テモ著シキ變調ヲ呈スルニ至レリ、蓋シぶらじるノ輸出品ノ太宗ハ言フ迄モナク珈琲ニシテ、從來ハ之ヲ以テ輸入貨物ノ對價及外債ノ利子ノ支拂等ニ充テツツアリシニ、輸出減退ノ結果ハ延テ國民ノ購買力及外債支拂ノ能力ヲ薄弱ナラシメタルノミナラズ、在荷ノ堆積生産ノ過剩等ヲ惹起シ價格暴落ノ危險ニ襲ハレシヲ以テ、政府モ遂ニ之ヲ默視スル能ハズシテ約三千七百萬弗ヲ支出シテ、過剩在荷ノ買上ヲ斷行スルノ止ムナキニ至レリ。

(三)資本融通ノ困難、從來南米諸國ニ於ケル企業資本ノ供給者ハ多クハ歐洲殊ニ英・佛・獨等ノ資本家ナリシニ、開戦以來是等ノ資本供給ノ途全ク杜絶シタルヲ以テ、現ニ進行中ナリシ鐵道・土木・建築其ノ他一切ノ事業ハ一時中止ノ運命ニ遭遇スルニ至レリ、尤モ極メテ必要缺ク可カ

ラザル事業ニ對シテハ近時米國ヨリ資本ノ供給ヲ仰ギツ、アルモ、未ダ歐洲ノ資本ノ如クニ自由ニ之ヲ利用シ得ルニ至ラズ、斯ク資本ノ融通ノ困難ナルコトハ各種ノ打撃中最モ大ナルモノナリトス。

(四) 移住者ノ減少、南米ニ於ケル富源ノ開發ニ缺ク可カラザル重大ナル要素ハ移民ノ勞力ナルモ、開戰以來歐洲移民ノ俄カニ減少シタルコトハ、又是等ノ諸國ニトリテ一大打撃タルベキハ言ヲ俟タズ、例ヘバ戰爭前ニ於テハあるせんちんノ如キハ毎年三十萬人以上ノ歐洲人ヲ收容シタルニ、一九一五年ニハ其ノ數僅カニ四萬六千人ニ減ジ、又歸還者ノ數ハ平時ニ在リテハ平均來住者ノ三分ノ一内外ナルニ、開戰後ハ却テ來住者ノ數ニ超過シ、即チ一九一四年八月ヨリ一九一五年末ニ至ル迄ニ差引約十五萬人ヲ失ヘリト云フ。ぶらじるハあるせんちんノ如クニ歐洲人以外ノ來住者ヲ拒マザルヨリ、必要ナル勞力ノ減少ノ打撃ハ比較的小ナリト雖ドモ、然カモ尙ホ歐洲移民ノ減退ニ因リテ受クル損失ハ決

シテ鮮少ナリトセズ、あるせんちんノ農業ハ土着ノ住民ノミヲ以テハ到底之ヲ經營スルコト難ク、毎年十月ヨリ十二月ニ至ル農繁期ニハ伊太利及西班牙ヨリ一時的農業勞動者ノ流入スル者頗ル多ク其ノ數年々十二萬人以上ニ達シ、翌年四月ヨリ八月ニ至ル閑散期ニハ彼等ハ提携ヘテ歸國スルヲ常トスルモ、開戰以來是等ノ勞力ヲ得ルコト能ハザルニ至レルヨリ、止ムナク應急策トシテ軍隊ヲシテ農業勞動ニ從來セシムルノ計畫ヲサヘ立ツルニ至レリ。

以上諸種ノ理由ハ南米諸國ノ通商的活動ニ一大障礙ヲ與ヘ 一九一三年ニハ輸入總額約十億二千萬弗ナリシニ、一九一五年ニハ五億二千萬弗餘ニ減ジ、又輸出總額ハ一九一三年ニハ約十億六千萬弗ナリシガ、一九一五年ニハ總額上ニ於テハ約一千五百萬弗ヲ増加シタルモ、這ハあるせんちん・ペルー・チリ等ノ穀物家畜及軍用鑛物ノ產出國ニ於ケル一時的ノ輸出ノ増加ニ因ルモノニシテ、爾餘ノ諸國ニ於テハ輸入ト共ニ輸出モ亦減少シツツアリ。

五以上ノ原因ヨリ財政上ニ及ボシタル打撃、南米諸國ノ多數ハ輸入税ヲ以テ最モ重要ナル歳入源トナスモ、前述ノ如ク輸入ノ減退ハ忽チ歳入ノ減少ヲ來シ、各國政府ノ内外債ニ對スル義務ノ履行ハ固ヨリ、必要ナル經常費ノ支辨ニスラ往々不足ヲ告グントスルノ状態ニ瀕セリ、例ヘバぶらじの政府ノ如キハ一九一五年末ニ於テ約七千五百萬弗ノ債務ヲ民間實業家ニ負ヒツツアリシモ、國庫ハ之ヲ支拂フベキ餘財ヲ有セザリシヲ以テ、止ムナク大藏省證券ヲ發行シテ其ノ支拂ニ充テシカバ、該證券ノ價格ハ額面價格ヨリモ二割五分ノ下落ヲ見ルニ至レリ、當ニぶらじのノミナラズあるセン・チン・ばらがい・智利等ノ如キモ亦現ニ財政上ノ困難ニ遭遇シツツアリ、(あるセン・チンノ輸入税ヨリ生ズル歳入ハ一九一四年ノ初期ニハ約二千二百萬弗ナリシニ、一九一五年ノ同期ニハ半額ニ減少シ、ばらがいノ如キハ全然國債ノ利子ヲ支拂フコト能ハズ、又智利ニ於テハ輸入税以外ニ硝石及沃度ニ對スル輸出税ハ重要ナル歳入源ヲ形造リ、從來一箇年

約三千萬弗ノ收入ヲ之ヨリ得ツツアリシニ、開戦第一年ニハ既ニ一千八百萬弗ニ減少シタリ)、殊ニ外債ノ利子及輸入貨物ノ價格ノ支拂ニ要スル金ノ需要ハ、國內ニ於ケル通貨ノ缺乏ヲ愈々甚ダシカラシメ、之ニ應ゼンガ爲メニ紙幣ヲ増發セルモ(ぶらじのノミニテモ貳億五千萬みるりトす『約貳億五千萬圓』ノ紙幣ヲ増發セリ)、紙幣ノ増發ハ却テ通貨ノ下落・物價ノ騰貴・購買力ノ減退・事業ノ縮小・小資本家ノ倒産等ヲ誘ヒ、一般經濟社會ニ著シク恐怖ノ念ヲ生ゼシメタリ、固ヨリ其ノ程度ハ國內ニ於ケル富源ノ性質ニ依リテ同一ナラズト雖ドモ、經濟的不安ノ念ニ充タサレツツアル點ニ於テハ一ナリトス。

南米諸國ニ於ケル歐洲戰亂ノ影響既ニ此ノ如シトセバ、長ク現時ノ状態ニ安ンズ可カラザルハ觀易キノ理ニシテ、其ノ結果近時諸種ノ方面ニ新タナル計畫ノ續興セントスル傾向アリ、今其ノ主要ナルモノヲ擧グレバ、

(一)南米諸國中殊ニぶらじん・あるセン・チン及智利等ニ於テハ自ラ新タニ海運業ヲ起サントス

ルノ計畫アリ、固ヨリ現在ノ狀態ニ於テハ斯カル計畫ヲ成就ス可キ資本・設備・技術・材料(造船等ノ)等ニ缺クル所甚ダ多シト雖ドモ、然カモ從來全ク顧ミラレザリシ海運業ノ獨立的發展ニ關シテ南米國民ノ自覺心ヲ刺戟スルニ至レルハ進歩ノ一徵證ト稱セザルヲ得ズ。

(二)石炭ノ價格ノ騰貴ハ近年漸ク勃興セントシツツアリシ各種ノ工業ノ企業ニ一大打擊ヲ與ヘタルヲ以テ、燃料自給策ニ全力ヲ傾注シ、斯クシテぶらじるニ於テハばらな及さんた、かざりなノ從來ノ炭礦以外ニ新炭礦ノ搜索ヲ獎勵シ、あるせんちんニ於テハばたごにあノ石油礦ノ開鑿ニ一層力ヲ用ヒ、且最近ニ至リテハ良好ナル炭礦ヲサへ發見シ得タリト稱セラル、尤モ該炭礦ハ現今ハ鐵道ノ便ヲ缺クヲ以テ直チニ之ヲ利用スルコト能ハザルガ如シト雖ドモ、將來交通機關ノ完成ト共ニ重要ナル燃料供給地ヲ以テ目セラルルニ至ルベキヤ必セリ。

(三)從來ノ歐洲諸國トノ通商的關係ニ代ユルニ隣邦米國トノ關係ヲ一層密接ナラシメンコトニ

洋意シ來レルコトニシテ、其ノ結果南北米間ノ通商ハ次第ニ増加セントスルノ傾向アリ、例ヘバ一九一三年ニハ南米諸國ヨリ合衆國ヘノ輸出總額ハ約貳億萬弗ナリシニ、一九一五年ニハ三億二千二百萬弗以上ニ達シタリ。尤モ同年間ニ合衆國ヨリ南米諸國ヘノ輸入總額ハ一億四千六百萬弗ヨリ一億四千五百萬弗ニ減ゼシモ、這ハ前述ノ如ク歐洲戰亂ノ影響ヲ受ケ一般購買力ノ減退シタルコトモ固ヨリ其ノ一原因ヲ成セリト雖トモ、亦他方ニ於テハ輸入貨物ノ價格ノ騰貴ニ伴ヒ、漸次外國品ノ使用ヲ節シテ内國品ノ生産ヲ獎勵スルニ至レル一種ノ國產獎勵策ノ結果ニ因ラズンバアラザルナリ。

歐洲戰亂ノ南米諸國ニ及ボシタル影響ハ以上要説セル所ノ如シ、而シテ殊ニ最モ大ナル打擊ハ歐洲移民及貨物ノ輸入ノ減退セルコトニシテ、自然ノ富源ハ到ル處ニ其ノ開發ヲ待チツツアルモ努力ノ不足ハ之ヲ如何トモ爲ス能ハズ、又歐洲品ノ輸入ノ杜絶ニ基ヅク價格ノ暴騰ハ、假令國內ニ於テ代用品ノ生産ヲ獎勵シツツアル

* 此ノ計數ハ Tower 氏ニ據ルモ South American Handbook ニ據ルバ約一億六千六百萬弗ニ上リツツアリ、

モ尙ホ其ノ缺乏ヲ充タス能ハザルノ状態ニ在リ、固ヨリ此ノ機ニ乗ジテ米國ハ南米諸國ニ漸次勢力ヲ擴張セントスルノ計畫アルモ、富源ノ開發ニ必要ナル勞力ノ不足ニ對シテハ、米國自ラ現ニ同一問題ニ苦シメルノ實況ニ在ルヲ以テ全ク活動ノ資格ヲ有セズ、又歐洲品ニ代ル可キ貨物ノ輸出ニ關シテモ、米國內ニ於ケル生産費ノ不廉ハ到底意ノ如ク其ノ販路ヲ擴張セシムルコト能ハザルベシ、故ニ米國ノ南米諸國ニ對スル活動ハ結局其ノ巨富ヲ提ゲテ、或ハ鐵道ニ或ハ鑛山ニ其ノ他有望ナル諸種ノ事業ニ對スル放資ノ方面ニ現ハルルモノト觀ルヲ適當トスベク、果シテ然リトセバ我方國ハ米國ノ利益ト何等扞格スル所ナクシテ、又此ノ機會ヲ利用シ得ルモノト言フヲ得ベシ、即チ有望ナル事業ニ對スル大資本ノ放下ノ方面ニ於テハ之ヲ米國ニ讓リ、現ニ富源ノ開發上最モ缺乏ヲ感ジツツアル勢力ノ供給及歐米諸國ニ比シテ低廉ナル生産費ヲ以テ生産シ得ベキ代用品ノ市場擴張ノ方面ニ於テ、我が國民ノ活動ノ餘地決シテ渺ナシトセ

ズト信ズ。此ク觀察シ來ル時ハ吾人ハ支那及南洋ニ關スル研究ノ忽セニスベカラザルヲ思フト共ニ、又我方國民ノ將來ノ發展上看過スベカラザル一大要地トシテ、更ニ南米ニ關スル世人ノ研究ト着眼トヲ望マサルヲ得ザルナリ。

(附言) 本稿ハ主トシテ W. S. Tower 氏ノ "South America and the War" (in The Journal of Political Economy, May, 1917.) ニ據リ、又 R. W. Babsont 氏ノ "The Future of South America, 1916. 及 South American Handbook" ヲ參酌シテ私見ヲ加ヘタルモノナリ。